



課題

MSP(マネージドサービスプロバイダ)は、差別化されたサービスを提供し、卓越したカスタマーサービスを提供し、収益を増加させながら、コストを管理する必要があります。このためには、サービスを革新し、差別化できるようにする新しいアプローチが必要です。

ソリューション

Flexible Service Edgeは、接続性からマネジドルーター、全機能を備えたSD-WANまで、多様なサービスをサポートする統合エッジプラットフォームです。サービスプロバイダは、ライセンスを変更するだけで別のサービスにシームレスにアップグレードできます。つまり、当面必要なサービスに対してのみ料金を支払い、サービス停止時間を最小限にできます。

メリット

- ・アプリケーションのパフォーマンスと収益向上の加速化
- ・強化、差別化されたマネージドセキュリティがネットワークに組み込まれる
- ・簡素化、自動化、拡張されたサービス提供とサポート
- ・現在のみならず将来にも対応できる、革新的で戦略的なSD-WANソリューション

SD-WANのビジネス主導型ネットワークをマネージドサービスとして作成

ネットワークインテリジェンス、セキュリティ、柔軟性を組み込み、今日の高性能アプリケーションとサービスをサポート

SD-WAN市場は驚くべき成長を続けています。IDCによると、米国企業の75%が、今後2年以内にSD-WANソリューションの導入を予定しています。企業にとって、MSPが提供するサービスはCapExおよびOpExに良い影響を与え、ITスタッフの増員や複数ベンダーとの交渉の負担を軽減できます。これは、セキュリティと信頼性を向上させながら、企業に低成本でサービスを提供できるマネージドサービスプロバイダ(MSP)にとって大きなチャンスになります。

MSPにとっての課題は、サービスを差別化し、卓越したカスタマーサービスを提供し、収益を増加させながら、コストを管理することです。接続サービスから着手するのは良い考えですが、顧客を保持して市場シェアを拡大するためには、MSPは画期的な新サービスという形でさらなる価値を提供し、市場投入までの時間を短縮しなければなりません。

ジュニパーではこうした差別化をトンネルフリー ソリューションで提供し、オーバーヘッドを軽減し、アプリケーションパフォーマンスを向上させ、顧客離れを低減します。Juniper® Flexible Service Edge (FSE)は、サービスイノベーションのための広範な基盤を提供し、MSPがサービスを進化させ、スケジュール通りに価値を提供できるようサポートします。Flexible Service Edge (FSE)は、インテリジェントなレイヤー3 NID (ネットワークインターフェイスデバイス)から開始し、マネジドルーターにアップグレードし、最終的にはJuniper Session Smartルーターにアップグレードできる統合プラットフォームで、トンネルフリー SD-WANソリューションのすべてのメリットを提供します。

Flexible Service Edgeは、サービスプロバイダに新しいサービスのホスト提供開始ポイントを提供し、サービスプロバイダがマネージド回線からマネージドSD-WAN、ユニファイドコミュニケーション、総合的なデジタル変革へと進むプロセスをサポートします。またこのソリューションは、ハードウェアの変更やソフトウェアの変更、ダウンタイムなしでリモートでアップグレードでき、すばやく容易にサービスを開始できます。

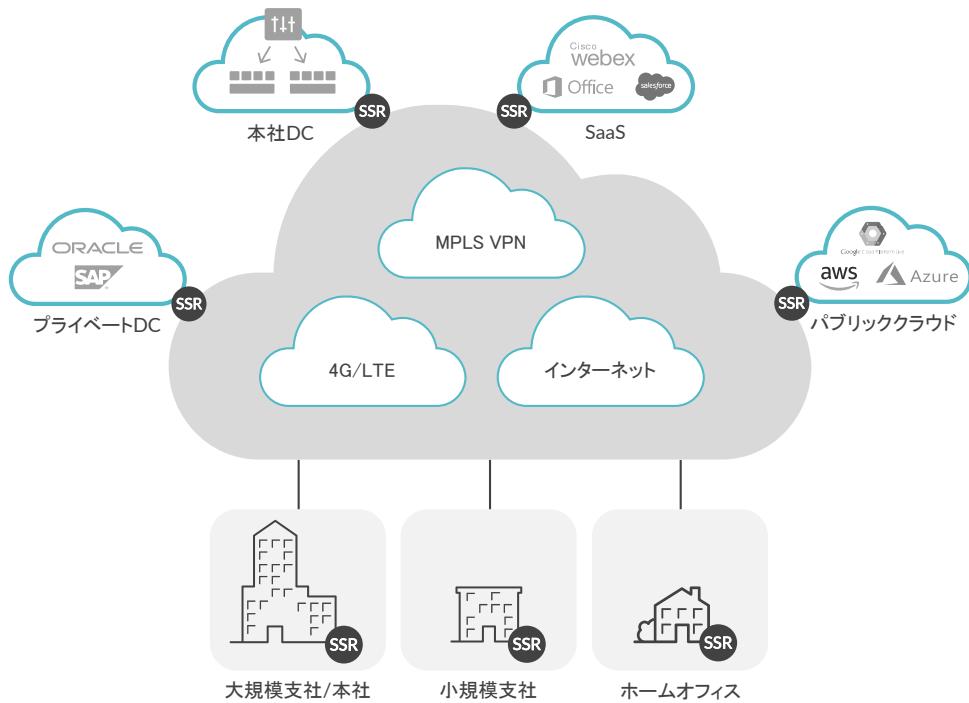


図1:Session Smart SD-WAN

課題

現在入手可能なSD-WANソリューションの多くは、レガシーテクノロジーに抽象化、セグメンテーション、分析、オーケストレーションをただ詰め込んだだけのものです。このアプローチでも何らかのビジネス上のメリットは得られますが、MSPがサービスを差別化する可能性は生まれません。

すべてのSD-WANソリューションは複数のWANトランスポートネットワークを使用し、GRE(一般ルーティングのカプセル化)などのカプセル化、VXLAN(仮想拡張LAN)、IPsec、DMVPN(動的マルチポイントVPN)、または独自のトンネリング技術を使用して、オーバーレイネットワークを構築します。オーバーレイとトンネルは、ラッパーを導入してネットワークの弱点と柔軟性の欠如を補おうとしますが、複雑さが増大します。このため、高コストのオーバーヘッドが発生し、エンドツーエンドのネットワークが妨げられ、パフォーマンスが損なわれます。

差別化されたサービスを費用対効果に優れた方法で提供するため、MSPにはSD-WANへの革新的なアプローチが求められます。

Flexible Service Edge: サービスの革新と成長に向けた基盤プラットフォーム

Session Smart NIDとの接続を提供するフトプリントを確立 Flexible Service Edge (FSE) ソリューションは、インテリジェントなレイヤー3 NID(ネットワークインターフェイスデバイス)である Juniper Session Smart NIDとして機能し、インターネットアクセス、クラウド接続、VPNサービスを実現または向上させます。FSEは、インターネット、キャリアイーサネット、4G/LTEなど複数のアクセス手法をサポートすることで、サービスプロバイダに最大限の柔軟性と拡張性を提供します。アプリケーションレベルの使用状況やパフォーマンスデータを詳細に可視化して、サービスプロバイダがサービス品質を監視して診断を効率化し、優れたカスタマーエクスペリエンスを提供できるようにします。

分析を活用してSession Smartマネジドルーターにアップセルサービスプロバイダが、サービス品質に影響を与える属性をアプリケーションレベルで把握できることで、マネジドルーターなどのより強固なサービスへのアップグレード時期を顧客に明確に示せるようになります。FSEにより、サービスプロバイダは、顧客のためにルーティングを容易に設定、監視、制御できます。Juniper Session Smartマネジドルーターへとバリューチェーンの上位に移行するために必要なことはライセンス変更のみで、新規ハードウェアは不要です。これによりサービスプロバイダは、利益率の高いサービスの提供を最小の停止期間で迅速に開始できます。

Session Smartルーターを使用した価値の高いサービスによる戦略的ビジネスパートナーへの変革

準備ができたら、サービスプロバイダはFSEをアップグレードして、SSR(Juniper Session Smartルーター)の全機能を利用できます。これには、インテリジェントなアプリケーション中心のルーティングや高度なセキュリティおよびポリシー管理が含まれます。サービスプロバイダは、マネージドSD-WAN、IoT、MEC(マルチサービスエッジコンピューティング)などの高価値のサービスを提供できるようになり、顧客のデジタル変革を実現する戦略的パートナーとしての立場を築くことができます。

革新的で戦略的なアプローチ

Flexible Service Edgeは現在のみならず、将来にも対応可能なソリューションです。エンドユーザー組織とMSPの顧客が増加する中、IoT環境やデータセンターの相互接続などにおいて、Flexible Service Edgeを厳格なネットワーク/クラウドセキュリティソリューションとして使用し、ハイブリッド/マルチクラウド環境に安全に接続できます。これは、MSPにとって非常に汎用性の高い武器となります。

メリット

サービス中心のファブリック

- サービスプロバイダはマルチクラウド、MEC、5Gソリューションを導入して、差別化したユーザーエクスペリエンスを提供し、顧客満足度を向上させます。ビジネスケースを機能させるため、サービスプロバイダは市場投入までの時間短縮目標を達成できるよう、コストと俊敏性を管理するための拡張を要求します。FSEのSoftware-Definedファブリックは、ネットワーク全体のサービスとテナンシーのコンテキストを管理し、ユーザーをエクスペリエンスと関連付けます。

新規サービスと既存サービスのビジネス成果向上

- 接続サービスに対する競争は激しく、利益の獲得はきわめて難しくなっています。同時に、サービスプロバイダは利益率の高い新しいビジネスに参入する必要があります。FSEプラットフォームは、低価値および高価値のサービスにおいてコスト競争力があります。自動化と可視化を使用してOpExを削減し、セッションベースでトンネルフリーのアプローチによって帯域幅コストを30~50%削減します。

ゼロタッチプロビジョニングによるクラウドのスケーリング達成

- 従来のエンタープライズSD-WANから5G、IoT、エッジコンピューティングに移行する場合、サービスプロバイダの拡張要件は大幅に増大します。FSEのゼロタッチプロビジョニングにより、サービスプロバイダは、分析やポリシーを含め、多数のエンドポイントを費用対効果が高い方法で迅速に導入し、アップグレードできます。

レガシーアーキテクチャからの脱却

- 従来のSD-WANソリューションは、静的VPNベースのオーバーレイ、ハードウェア中心の接続、一元化されたハブアンドスポーク型ルーティング、IPアドレスルーティングコンテキストを基盤としており、サービスプロバイダはクラウドがもたらす俊敏性と経済性を達成できません。FSEは、プログラム可能で柔軟性があり、モバイルの分散型ソフトウェアベースソリューションです。

自信を持ってエッジを保護

- エッジコンピューティングと5Gの導入により、エッジポイントの数は飛躍的に増加し、それに伴いセキュリティリスクも急激に高まります。この状況では、境界だけを保護するのではなく十分です。FSEのプラットフォームには、ゼロトラストのデフォルトで拒否するファブリックのセキュリティが組み込まれており、Secure Vector Routingがきめ細かなセキュリティをセッションレベルで提供します。

まとめ: Juniper Flexible Service Edge

Flexible Service EdgeによってMSPは、さまざまな高価値のクラウド中心型サービスを、すばやく費用対効果の高い方法で稼働できます。このソリューションはイノベーションを支える拡張可能なプラットフォームの役割を果たし、新しい機能を実現し、シンプルなソフトウェアライセンスの更新により、新しいサービスを停止することなく段階的に提供できます。ジュニパーのソリューションは、WANサービスエッジを刷新し、価値提案を拡大し、顧客関係を強化し、今日の競争の激しい市場における利益と収益の増大への回復をサポートします。

次のステップ

ジュニパーネットワークスの製品およびソリューションの詳細については、www.juniper.netをご覧ください。

ジュニパー・ネットワークスについて

ジュニパー・ネットワークスは、世界をつなぐ製品、ソリューション、サービスを通じて、ネットワークを簡素化します。エンジニアリングのイノベーションにより、クラウド時代のネットワークの制約や複雑さを解消し、お客様とパートナー様の日々直面する困難な課題を解決します。ジュニパー・ネットワークスは、世界に変革をもたらす知識の共有や人類の進歩のリソースとなるのはネットワークであると考えています。私たちは、ビジネスニーズにあわせた、拡張性の高い、自動化されたセキュアなネットワークを提供するための革新的な方法の創造に取り組んでいます。

米国本社

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA
電話番号: 888. JUNIPER (888.586.4737)
または+1.408.745.2000
FAX:+1.408.745.2100
www.juniper.net

アジア・パシフィック、ヨーロッパ、中東、アフリカ

Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240
1119 PZ Schiphol-Rijk
Amsterdam, The Netherlands
電話番号: +31.0.207.125.700
FAX:+31.0.207.125.701

日本

東京本社
ジュニパー・ネットワークス株式会社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー45階
電話番号: 03-5333-7400
FAX: 03-5333-7401
西日本事務所
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ビルトンプラザウエストオフィス18階
www.juniper.net/jp



Engineering Simplicity